

参考書ランキング

<英文読解>



1 英文読解の透視図 研究社

英文の本質をつかむために構造読解を鍛える参考書で、どの例文も大学入試で実際に出的過去問を使用しており良問が多いです。一橋の英語レベルに十分対応できる参考書なので、この1冊をマスターできれば相当実力はつくはずです。またテーマごとに章が分かれているため自分の苦手なテーマに関してはそこを重点的に復習するのもよいかもしれません。自分なりの活用法を見つけてやってみてください。流れで曖昧に長文を読んでしまっている人もぜひ！やればやるほど精読力がつく、本当にオススメできる参考書です。



3 ポレポレ英文読解 代々木ライブラリー

名前は可愛らしいが普通に難易度は高い問題集。実際に大学受験で出題された英文を読み解いていくものである。テーマ別になっていないのはランダムに色々な種類の英文に取り組めるというメリットと、どのテーマも中途半端になってしまいかねないというデメリットを併せ持っているため、ある程度の基礎力・実力がついてから取り組むのが無難だろう。問題集自体は非常に薄くデザインも可愛らしいので私はお気に入りの参考書だった。解説は若干簡潔すぎるところがあるので注意。



2 英文解釈の トレーニング Z会

掲載されている英文はZ会オリジナルかいわゆる難関大学の入試が主なので難易度は高めである。毎日1題ずつでいいので進めていくといいと思う（英文は毎日読むことが大事!!）。また、要約問題もたくさん入っているので要旨を捉える練習もできる。ただし、この本のデメリットとしては、解説がかなり少ない上に解き方を手取り足取り教えてくれるわけでもないの、ある程度実力がついてきたと感じてからやるべきだと思う。ただ、やれば難しい分記述力がつくので、このレベルの記述問題が解けるようになれば、一橋の入試に十分対応できるだろう。



4 テーマ別 英文読解教室 研究社

姉妹本の『英文解釈教室』に比べて英文は長くなっているので、より本格的な長文読解ができる参考書です。テーマ別となっていますが、特にこだわる必要はなく最初から順に読んでいくのがよいでしょう。英文のレベルは相当高いです。1度読んだだけでは全然意味がわからないということも少なくありません。しかしその分すべて読みきればかなり自信になるはず。本書で得た英語力は入試本番で必ず助けになるので、挑戦する価値はあると思います。

<英文法>



英語頻出問題総演習

桐原書店

文法や熟語、発音、イディオムなどの頻出問題を網羅している問題集。ランダムに問題が出されているので、この問題集を使って知識を深めるといより一通り頭に入れてからやる方が効果的だろう。解説はおどろくほど短い。というか、もはやないに等しい。一橋受験生なら長文読解や英作文などに多くの時間を割いてしまい文法や発音といった分野は手薄になりがちだが、センターや私大の対策も兼ねるといった意味でやっておいて損はないだろう。一橋の和訳問題には頻出分野の英文法やイディオムが含まれていることが多いのでその対策にもつながるはずだ。かといって、全部をみっちりやる必要はないと思うのでバランスを考えて取り組んで欲しい。

<英単語>



速読英単語

Z会

受験生なら誰でも知ってる人気の英単語帳です。主に 100 ～ 200 語程度の英文中の単語を覚えていくというもので、英文のトピックは多様なので似たような話題の長文が入試ででたりすることもあります。また、別売のCDを何度も聴くことで英語を英語のまま自然に理解できるようになるので、リスニング対策だけでなく長文をより速く読めるようになります。まずは必修編を完璧にすることが大切ですが、一橋の英語は語彙レベルが高いので、上級編までやっておけばその知識は入試本番で役立つはずです。



システム英単語

駿台文庫

レベル別に分かれた、フレーズで覚える形式の単語集。単語だけで覚えるのが苦手な人に特にお勧め。必要最低限の長さのフレーズばかりなので、かなり速い速度で学習が進められ、復習もしやすい(かなり重要)。長期休暇に何周もするとよい。また、一番よく使われる意味や前置詞が載っており、一気に覚えることができ非常に便利である。しかし一橋英語のレベルからすると少し不足気味と思われる。センター後からでいいので、速単の上級やターゲットの後ろの方なども用いて不足分を補ってほしい。



ターゲット 1900

旺文社

広く使われている単語帳。一橋の英語にしばしば登場する難単語を全て網羅できている訳ではないが、この 1900 を覚えればどの英文でも要旨を読み解けるまでにはなと思う。(もちろん読解や文法の勉強をした上で、の話) 一橋を受験するなら、最初の方にある単語でも 2 つ目や 3 つ目に記載されている和訳まで注意を払えるようになると思う。またせっかく例文があるのだから例文を活用しつつ覚えてみてください。



DUO3.0

ICP

単語・熟語を 560 本の飽きのこない例文で覚えられる優れもの。例文は自由英作文にも役立ち、掲載される派生語・関連語の情報量も目を見張るが、受験英語という観点にお

いては若干網羅性に欠ける。そこは長文読解の中でカバーしてほしい。別売りのCDは暗記の手助けになるのはもちろん、リスニング対策にも有効。復習用CD 1時間ですべての例文を復習できるため、試験前に一通り確認できるのも強み。長文の中で覚えるにはまだ単語力が不足している、てっとり早く覚えたいという人にはうってつけの単語帳であろう。

<リスニング・英作文>



リスニングの トレーニング Z会

毎日継続してやることで確実にリスニング力がつく問題集。様々なタイプの問題が用意されており全ての問題がディクテーション対策にも対応しているので、ただ問題を解くだけでなくディクテーションの練習も毎日するとよい。私はディクテーションをすることでリスニング力が確実なものになっていったと思う。iPodなどに入れて、とにかく毎日欠かさず聴くことが大事!!



英作文の トレーニング Z会

この参考書のメリットの一つは段階的に自由英作を学べること。少ない字数から段々と字数が増えていき、問題のレベルも基本から発展へと移り変わるので無理なく長い文章を書けるようになる。また、模範解答も必ず二つあり、色々な意見、考え方を学べるの。専門用語なども載っており、色々なトピックに対する(英語での)知識も得られる。他にも受験生が英作文で陥りやすい文法上のミスなんかものっていてなかなか有益だ。しかし、模範解答の論理展開の型が一般的すぎ、面白

みが無いのがどうかと思う。採点者は同じような論理展開のものばかり見てると、恐らく飽きてしまうものと思われるので、多少自分で工夫したほうがいいのかもかもしれない。あと、自分で書いてみたら出来るだけ英語の出来る第三者に添削してもらうことを薦める。付属の頻出基本例文集は、基本表現を使った文が体裁よく並んでいるため、繰り返し使って暗記するのに適している。ただ自由英作文編はかなりオリジナリティ溢れる問題が多いため、一橋の自由英作文の練習には不向きであり、飛ばしてもよい。

<数学>



青チャート 数研出版

基礎レベルの問題から二次レベルの問題まで含まれている問題集です。独学でも進められる参考書としても使えるので、受験対策開始時期には重宝します。ただし章末の総合問題は一橋の傾向とズレがあるので、そこは過去問をしっかりと解いて演習をこなしていくとよいでしょう。IA、IBすべて揃えるのかなり分厚く、モチベーションにも関わるので、一日に何問ずつ解いていけば予定時期に終わることができるかという計画を立てる必要があるでしょう。基礎固めとして使うのがいいと思うので、苦手分野は例題だけでなく練習問題まで解いて穴をつくらないようにしましょう。



文系数学 良問のプラチカ 河合出版

一橋などの難関大受験生用の問題集。といっても難問ばかりが掲載されているわけではなく、二次試験の数学としては標準的だが、

、入試で差がつく問題がセレクトされています。150問弱という無駄のない問題数ながらも別解が豊富で解説も詳しいので、解法暗記にはしるのではなくじっくりと考えて実践力を養ってください。商、経は特に数学の出来が合否に大きく影響するので、点を稼いでおきたいと思うならば隅から隅まで考え方をマスターしてもらいたい。数学では一つの分野でも苦手があると複合問題などが解けなくなってしまうことか多々あります。なので苦手分野が見つかったらそのつど教科書や基礎固めに用いた問題集（青チャなど）に戻って確認する作業を怠らずに。プラチカをやる時期としては、過去問の前、あるいは並行してやるのがよいでしょう



1対1対応の演習 東京出版

数学といえば東京出版。数学的に鮮やかで、すっきりとした解答が載っているので自分で答案を作る際にたいへん参考になります。筆者はこの問題集に取り組んで以来無味乾燥でつまらないと思っていた数学を好きになりました。内容面では、一文字固定法・逆像法（逆手流）など、教科書ではあまり扱われないが受験数学にはよく出題される分野も詳しく解説されています。また、複合問題がまとめられている数少ない問題集でもあります。ですが、公式がうろ覚えだったり基礎的な問題に手間取ってしまう人にはまだ早いので、教科書レベルの問題をマスターした後にやることをお勧めします。セレクトされている問題の質が高い（たまたに理系用の問題もあるが・・・）ので、一橋の頻出分野だけでも解いておいてください。



大学への数学 東京出版

毎月25日に東京出版から刊行される月刊誌。5～11月号では分野ごとに問題がまとめられており、12～2月号では総合問題が扱われます。一年間を通して高校数学の全範囲をカバーできるようになっています。これまでパターンとして解いて、それでいいと思っていた問題に対して異なるアプローチができるようになり、理解が深まるでしょう。確率や整数など、一橋の頻出分野が特集されている号だけ買い、演習量を増やすのもよいでしょう。また、数学が好きで余裕があれば、思考力増強を目的とする「学力コンテスト」にも挑戦してみてください。郵送すれば採点もしてくれます。ただし、東京出版の問題集は使う人を選ぶので、使ってみてじっくりこないと感じたら他の問題集に切り替えることをお勧めします。

<現代文>



システム現代文 水王舎

システム現代文は出口先生の代表的参考書で、いわずとした名著です。この参考書は人によって賛否両論ですが、現代文が苦手な解法の方針がうまくたてられない人は一度はやってみて出口式解法を習得するのも悪くないとおもいます。この参考書は個々の問題にたいし解説をしながら、出口式の解法をあてはめ、どのように解答を導くかがかかれています。私の場合はバイブル、ベーシック、センター、記述・論述編とあるなかで、センター編のみをやりましたが、出口式の思考法

を頭に焼き付けるために三回ほど繰り返してやりました。いきなりセンター編や記述論述編をやって抵抗を感じた人はベーシック・バイブル編をまずやるのが、いいのではないかと思います。

2 現代文のトレーニング Z会

この参考書は他のZ会のものがそうであるようにかなり解説が細かいです。さらに採点基準も載っているので国語の自習用としては最適だと思います。解説の後に要約もついているので要約ってどんなのだろう・・・とか思ってる人は見てみて下さい。また、問題の出典に関するコラムみたいなものもあるんで勉強に疲れたら読んでみたらどうでしょうか(笑) けっこう面白いですよ。ただ、問題の量が非常に多いので国語の配点が低い学部の人には全部やる必要はないと思います。

2 得点奪取現代文 河合出版

この参考書の一番のメリットは、詳しい解法や採点基準が示されているだけでなく、解説に『ある生徒の解答例』として間違った解答例が示されており、それを見ることでより正確な添削が自分で出来るということである。(添削してもらえたらそれに越したことはない) また本書は典型問題と練習問題から構成されており、典型問題をやりこんでから練習問題に移ることを強く薦める。形式としては最初は簡単な抜き出し問題から始まり後半は100字以上の自由記述問題まで網羅されている。この1冊でかなり幅広い現代文対策をすることが可能である。現代文の勉強をやりたいが何をすればいいかわからない

人、現代文の添削をお願いできるような先生が近くにおらず独学でやらざるを得ない人には非常に適していると思う。あまり現代文に時間をつぎ込めない人なら典型問題を何度も解いて、カンを鈍らせないために利用してほしい。ただし一橋大頻出の近世文語文はあまり収録されていないため。近世文語文をやりたい人はそれ専用の問題集をやることを薦める。

<古文>

1 マドンナシリーズ 学研

古文界のカリスマ教師荻野文子先生のマドンナシリーズは、細かく丁寧な説明で人気が高い。単語編では必要最低限の重要古語について語源から説明をしてくれていて、頭に入りやすい。常識編では古文を読み解く上で重要になってくる語句の説明が詳しく記載されており、普通に読む分には豆知識的要素としておもしろい。また古文においては古文世界のバックグラウンドを知っておくだけで読解力にかなりの余裕が生まれるので、常識編は早いうちに1度読んでおくとういかもしれない。センターや私大向け。だけど難関私大だったら全部はカバーできないと思う。

1 古文単語ゴロ565 アルス工房

名前の通りゴロで古文単語を覚えさせる単語帳。どのゴロもクオリティが高く印象に残りやすいようおもしろく作られていて、楽しく覚えたい人にはよいかもしれない。しかしこの単語帳を使って古文読解力に活用できた人もいれば、それまで自力で覚えた単語とごっちゃになって実力に結びつかなかった人

もいて個人差が大きい。また、普通にゴロを覚えても実際の古文中でその単語を見つけた時に、その単語が持つ意味の中から適切なもの1つを想起できるかどうかにも人による。とりあえず1度見てから自分に合うかどうかをためてほしい。CDを併用するとさらに効果が上がるらしい。

<漢文>



漢文早覚え速答法 学研

漢文はセンターだけしか使わないから、あまり時間を割きたくない・・・」という人は本格的な古典の出題が少ない一橋の受験生に多いはずですが、そんな人に最適な参考書がこの本です。本書は入試に必要な漢文の知識が簡潔に、わかりやすく書いてあります。著者独特の書き方がおもしろく、読みやすいので短時間で仕上げるができるはずです。本書にも書いてありますが、最後に掲載してある著者が作った漢文は必要な句法が詰まっています、覚えやすい内容なので何度も音読することをお勧めします。



漢文ヤマのヤマ 学研

ちょっと、そこのアナタ！漢文なんかフィーリングで十分、とか思っていないですか？アマイです！漢文では句形が重要なんです。でも、漢文に沢山時間かけられないし・・・そんなアナタにはこの一冊がおすすめです。初歩から入るし、句形も分かりやすくまとまっています。ちょっとした練習問題もついているので、入門書としてザッとやるにはもってこいです。私大対策には不十分ですが、一橋では二次試験に高度な漢文の知識をあまり必要と

しないので、他の教科にいっぱいいっばいで漢文に時間がさけない人にはおすすめです。センター対策としてはコレのあとに問題をこなすだけで十分モリモリです。

<世界史>



荒巻の 世界史見取り図 ナガセ

荒巻の世界史の見取り図、この本を一回読めば世界史が好きになります。二回読むと世界史の流れが把握できます。三回読むと一橋に受かります（笑）、というのは誇張ですが、実際自分はこの本と出会っていなかったら、今一橋にいるかどうか怪しいです。というのはこの本は教科書とは別の視点から世界史をとらえており、歴史の流れを把握する上で最高の参考書だからです。論述試験が課される一橋で、流れを把握しておくのは本当に大切です。しかもこの本は世界史の論述で狙われやすいところを割と押さえているので、読むだけで論述対策になるかもしれません。実際、この本の内容を完全に覚えていれば、今年の一橋の世界史の問題の大問三は恐らくどちらも満点がとれたと思います。（完全に覚えていれば、ですよ）しかしこの本は高度な内容を含むので、ある程度世界史の基礎が出来てから読むのをお勧めします。ちなみに今年、待望の5巻の発売が決定し完結するそうです。



世界史論述練習帳 旺文社

東大・京大・一橋といった難易度の高い論述問題を課す大学を目指す受験生向けの参考書。世界史の基本知識は頭に入っていることを前提として、論述で高得点を出すノウハウ